

北村少尉石柱碑のご案内



「戦闘機の落下」

昭和二十年二月十二日の昼時、「ゴォーキーンどっかん!!」「ヒュルヒュルー!!」「ゴー!!」。黒煙を噴きながら戦闘機が錐もみ状態で落ちてくるのが見えた。

パラシュートで脱出した操縦士は温井と久須の民家近くに落ちた。

近くで目撃した金八さんは敵兵かと思い家に走り竹やりを取って駆け付けたが、よく見ると胸に日の丸の日本兵だった。

急ぎ集落の医者呼び手当をしたが、やがて医師は首を振り死亡と告げた。

身分証から北村少尉と判明。B-29に体当たりした機体は四つに空中分解して落下。翌日、岐阜の部隊からお迎えが来てご遺体はトラック中央に乗せられ、十人位の軍人が捧げ銃をする中を帰還された。



アクセス方法 (道の駅平成から)

道の駅平成から岐阜県道58号関金山線を北上し、関市武儀事務所の信号を七宗町方面へ進みます。

約4キロ進み「令和2年日本の人口重心地」の看板を右折。約400メートル進んだ左手に北村少尉石柱碑があります。



駐車場はございませんので付近の空きスペースを譲り合ってご利用ください。